

平成24年1月17日

報道機関各位

全国生コンクリート工業組合連合会
全国生コンクリート協同組合連合会

「福島県二本松市のマンションで高い放射線量が検出された報道」に関し、
適切な表現のお願いと生コンクリート業界の対応について

この度、福島県二本松市のマンションから高い放射線量が検出されたことが
発表されました。

このことについて、報道では、生コンクリートの原材料である「砕石」が原
因であることを明確に表現している報道機関もありますが、多数の報道機関で
は、「汚染コンクリート」という表現が使われ報道されております。

生コンクリートは、砕石の他セメントや砂、混和剤等を原材料として製造し
たものであり、砕石以外の原材料まで汚染されて問題があったわけではありま
せん。

今回の「汚染コンクリート」と言うような表現は、当業界にとって関係のな
い業者まで迷惑がかかり、業界のイメージが大きく損なわれます。

ぜひとも、「汚染コンクリート」という表現は使わないで頂くようお願い申し
上げます。

過去にも、「コンクリートから人へ」という表現により、当業界を始めとする
関係業界が相当なダメージを受けましたが、東日本大震災においてコンクリー
トの重要性、有用性が再確認され、どうにかイメージの回復が図られたばかり
であり、報道機関におきましては、正しい表現で報道して頂きますようご協力
よろしくお願い申し上げます。

なお、当業界と致しましては、砕石等原材料業界に対し、出荷に当たって検
査等を行い、安全な原材料を出荷するよう要請を行うことに致しております。

また、当業界の当該地域の業者に対しては、受け入れ原材料について測定を
行うよう指導を行うとともに、本連合会の研究所において測定方法等を研究し、
安全な生コンクリートの出荷に一層努力してまいりたいと考えております。

今後とも、ご指導、ご協力よろしくお願い申し上げます。